

義務教育課 人 事担当 内線 5220  
 高校教育課 人 事担当 内線 5256  
 特別支援教育課 人事・計画担当 内線 5275  
 保健体育課 学校体育担当 内線 5352

## 教員の働き方改革に向けた実践モデル校事業

### 1 目的

教員の超過勤務の縮減を図るため、モデル校において実践的な取組を実施し、その結果を検証することにより、全ての県立学校及び市町村立学校における教員の働き方改革を推進する。

### 2 教員の勤務の長時間化の現状※小中は R1.7 文科省調査から 高特は R1.10 月県調査から

区 分	小学校	中学校	県立高校	特別支援学校
45 時間/月を超える割合	63.9%	80.8%	40.5%	17.3%
80 時間/月を超える割合	13.9%	36.9%	11.5%	0.1%

### 3 超過勤務の要因

- 小学校…1 人の教員が全授業を担当するので、放課後まで授業以外の業務ができない。  
放課後に児童会、行事の準備、生徒指導、保護者対応、学級事務、成績処理、翌日の授業準備 など
- 中学校…放課後の部活動指導で勤務時間を過ぎてしまう。土日の部活動の負担。  
放課後に部活動指導、下校指導、会議・研修、行事の準備、生徒指導、保護者対応、学級事務、成績処理、翌日の準備 など
- 高 校…放課後の部活動指導で勤務時間を過ぎてしまう。土日の部活動の負担。  
放課後に部活動指導、課外授業、個別面談、調査などの回答、翌日の準備など
- 特別支援…登校から下校まで児童生徒への対応が必要なため空き時間がない。  
放課後に教材作成、指導案作成、個別の指導計画作成、行事の準備、保護者との面談 など

### 4 モデル校

#### (1) 市町村立学校

市町村教育委員会における支援的取組と学校における実践研究をパッケージとして実施（小中学校各 1 校）

笠間市…笠間小学校，笠間中学校

石岡市…東小学校，石岡中学校

桜川市…岩瀬小学校，岩瀬西中学校

#### (2) 県立学校

○高 校…日立第一高校・附属中学校，水戸桜ノ牧高校，古河第三高校

○特別支援…水戸高等特別支援学校，境特別支援学校，下妻特別支援学校

## 5 モデル校における実践項目

○小中学校

《学校での取組》

小学校	①専科教員の活用 ②一斉下校日の設定	(学級担任の持ち授業時間等削減) (下校指導回数の削減)
中学校	①複数顧問制の適正化 ②部活動数の精選	(部活動の負担軽減)
小中共通	①時間割の工夫による5時間授業の実施 ②朝学習・朝読書指導の役割分担 ③学習指導案や教材の共通化 ④会議のペーパーレス化の徹底 ⑤校内研修の精選 ⑥学校行事の精選・地域行事への参加の精選 ⑦定時退勤日の徹底 ⑧学校閉庁日の導入 ⑨留守番電話の導入	(学級担任の持ち授業時間等削減)  (教材作成等の負担軽減) (会議時間の縮減) (研修時間の縮減) (行事等の負担軽減) (週1～2回, 月4回以上) (年間5日以上) (夜間業務の負担軽減)

《市町村教育委員会を中心とした取り組み》

市町村 教育委員会	①教材パッケージの共有化 ②「AI教材」の導入に向けた検討・条件整備 ③部活動大会の削減 ④校務支援システムの導入検討(充実化) ⑤給食費の「公会計化」の適正運用
--------------	---

○県立学校(高校・特別支援学校)

勤務時間 管理	①時差出勤の導入 ②完全退勤時間の設定 ③定時退勤日の設定	(フレックスタイム制) (平日午後7時など各校で設定) (週1日以上, 月6日程度)
部活動	④複数顧問の配置 ⑤「部活動の運営方針」の遵守	(土日のいずれかは休む) (平日2h, 土日4h, 週1回休養日)
ICT活用	⑥教材の共有化 ⑦デジタル教材を活用した指導	(クラウド・校内ネットワークの活用) (動画教材・反転学習)
その他	⑧一部の教員に業務が集中しない体制の構築	(チーム化)

## 6 目標

1カ月あたりの超過勤務時間45時間を超える教員の解消を図る。

7 実施期間 令和2年9月から令和3年3月

## 8 効果の検証と成果の活用

モデル校において実践した内容について効果を検証し、教員の働き方改革のためのガイドライン作成に反映